

拒絶理由通知書

特許出願の番号	平成11年 特許願 第042231号
起案日	平成16年 6月15日
特許庁審査官	高木 康晴 9275 4X00
特許出願人代理人	中島 司朗 様
適用条文	第29条第1項、第29条第2項

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明であるから、特許法第29条第1項第3号に該当し、特許を受けることができない。
2. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

- ・請求項7
- ・理由1、2
- ・引用文献1

備考

引用文献1には、本願請求項7に係る発明が開示されている。

- ・請求項1～6
- ・理由2
- ・引用文献1、2

備考

引用文献1の請求項1、10、11、図2、図3Aには、燃料ガスに空気を混合する空気混合器と、ガス流通管の内部に触媒が充填されることによって触媒層が形成されており、空気混合部で生成された混合ガスを前記触媒層に流通させる

ことによって触媒反応する触媒器とからなる触媒装置において、触媒反応の適正化及び温度を適切にコントロールするために、前記触媒器には触媒層のガス流通方向途中において、ガス流通管内の中央寄りを流通するガスと外周寄りを流通するガスとを混合攪拌するガス混合攪拌部（絞り部38a）と、当該ガス混合攪拌部より上流側において前記触媒層を周日から冷却できるよう設けられた冷却部（請求項5）とが備えられていることを特徴とする触媒装置が開示されている。

そして、ＣＯ除去装置において、選択酸化触媒層を適正な運転温度でコントロールすべきことは、引用文献２に開示されているから、適正な運転温度をコントロールするために、ＣＯ除去装置（引用文献２の図４又は図６）において、引用文献１に開示されているように、ガス混合攪拌部（絞り部）と、ガス混合攪拌部より上流側において触媒層を周りから冷却できるよう設けられた冷却部を設けることは、当業者であれば格別創意工夫を要したこととはいえない。

引用文献等一覽

1. 特開昭52-48572号公報
2. 特開平11-302001号公報

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C第7版 H01M8／04
 H01M8／06
 C01B3／00-6／34

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。

この拒絶理由通知の内容に関する問い合わせ、または面接の希望がありましたら下記まで連絡下さい。

特許審査第三部 金属電気化学

TEL. 03(3581)1101 内線3477 FAX. 03(3501)0673